

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	構造設計及び演習 I						
科目区分	専門科目	単位数	3単位	開講時期	3年時前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)／—(デザインコース)						
担当者	奥野 賢二						
授業の到達目標(シラバスから)	構造力学、鉄筋コンクリート、鋼構造など構造系のカリキュラムの集大成であり構造設計行為に必要な知識の集約や工学的判断のほか、施工上の問題を取り入れながら構造設計への道筋を修得する。そのために、構造設計の基本方針の具体例、想定すべき荷重の評価と計算例、応力計算手法の評価と計算例、構造図の見方と表現法など、演習を主体とした内容が理解できるようになることを目標とする。						
日程と内容	第 1 回 4月10日：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第 2 回 4月17日：長期荷重（固定荷重・積載荷重）の計算方法 第 3 回 4月24日：梁の荷重項・柱軸力 第 4 回 5月1日：地震荷重 第 5 回 5月4日：鉛直時応力計算 1 第 6 回 5月15日：鉛直時応力計算 2 第 7 回 5月22日：地震時応力 1 第 8 回 5月29日：地震時応力 2 第 9 回 6月5日：大梁断面設計 1 第 10 回 6月12日：大梁断面設計 2 第 11 回 6月19日：柱断面設計 1 第 12 回 6月26日：柱断面設計 2 第 13 回 7月3日：構造図作成 1 第 14 回 7月10日：構造図作成 2 第 15 回 7月17日：構造図作成 3						
成績評価基準	定期試験		実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	100%				100%	
授業到達目標の達成度	建築構造に対する理解は、概ね達成できたと思われる。						
反省点	熱心に取り組んでいる学生にとっては建築構造に対する理解の大きな助けとなっていると思われるが、一部の学生は他の学生の結果を鵜呑みにするだけとなっている。						
来年度の計画	建築構造に対する興味を引き出せる内容とする必要がある。 来年度はもう少し構造図の作成時間を増やしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	演習内容が難しいとの意見があるが、建築技術者としては最低限必要な知識であると考えている。						
履修登録者数	23 名	定期試験 受験者数		合格者数	22 名	合格率	22000%